

C&C

Cure and Care
communication

第98号

コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) http://www.pia-gr.or.jp/

医療法人ピーアイエー

ナカムラ病院

介護医療院 ひいろ
介護老人保健施設 まいえ
グループホーム つばい

社会福祉法人 双樹会

特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所
居宅介護支援事業所

介護医療院 ひいろ

開設について

平成三十年九月一日、医療法人ピーアイエーは「介護医療院ひいろ」を開設いたしました。介護医療院はみなさんには聞き慣れない名称ですが、実は平成三十年度医療報酬・介護報酬同時改定に際して介護保険施設の新類型として創設されたものです。一方介護療養病床は平成二十九年度で廃止が決定し、経過措置で六年間経過措置が設けられ、その間に他の病床に転換が求められました。介護療養病床廃止にあたり療養病床のあり方検討が行われました。いままで療養病床には、医療の必要性や介護度が高く、高齢の人が長期に入院していました。また亡くなる人も多くみられました。そのため、長期療養生活を送るのに相応しい、プライバシーの尊重、家族や地域住民との交流が可能な環境整備と経管栄養や喀痰吸引等日常生活に必要な医療処置を行え、疼痛管理も含めて充実した看取りを実施できる体制が求められました。そこで介護医療院が創設されたのです。介護療養病床は病院範疇でしたが、介護医療院は在宅扱いの施設になります。ナカムラ病院は介護療

養病床B1、B3、B4病棟を介護医療院へ移行しました。介護医療院は医師、看護師、介護士等の施設基準の人員配置は介護療養病床とほとんど変わりません。いまままで同様に医療度、介護度の高い利用者を診ていきます。介護療養病床から介護医療院へ移行するのにあたり、二部屋、四人部屋、多床室はパーティションによる間仕切りを設けプライバシーに配慮した療養環境を整えました。アドバンス・ケア・プラン(ACP)メニューを作成し充実した看取り体制を整えました。患者さま、ご家族、医師、看護師、介護士、リハビリ等多職種で繰り返し話し合い、医療介護方針を決定いたしました。そして患者さまの意思を尊重した医療及びケアを提供し尊厳ある生き方を実現できるようにします。誤嚥性肺炎を防止する口腔機能向上や口腔ケアの充実を図りフレイルの進展防止のための栄養状態の改善に取り組むご利用者の生活向上を図っていきます。

また介護医療院は地域に貢献し開かれた交流施設としての役割が期待されています。

認知症カフェ、認知症等健康講座、映画上映会、五日市観音西の小中学生の施設見学、五日市高校の職場体験実習や美術部書道部作品展示会など積極的に地域住民の方との交流を行います。さて、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で生活できるように包括的支援サービスを提供できる体制構築を目指す、地域包括ケアシステム構築が進められています。

地域包括ケアシステムの理念は前理事長 中村英雄が二十年以上前に提唱された「幸齢社会を創ります」という当法人の理念と同じものです。二十年以上前からこの理念の下に高齢者医療を行ってきています。かかりつけ医、ケアマネジャー、地域包括支援センター等と密接に連携の下、在宅療養や認知症の予防から終末期まで行え、地域包括ケアシステムに貢献できる医療法人ピーアイエーの中で「介護医療院ひいろ」は重要な役割を果たすと考えています。

介護医療院 ひいろ

院長 塚野

健

認知症初期集中支援事業について

当院では平成三十年十月一日より、認知症初期集中支援事業を行うこととなり、認知症初期集中支援チームを立ち上げました。

「認知症初期集中支援チーム」とは、認知症になつても、できるだけ住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けるために、認知症の人や認知症が疑われる人に、医療や介護の専門家が訪問し、医療や介護のサービスにつなげることを目的とした認知症の支援チームです。

初期集中支援チームの「初期」とは、「認知症の初期」の意味と、ファーストタッチ「初期対応」の意味を持っています。厚生労働省は二〇一八年度までに、全市町村に認知症初期集中支援チームを設置するよう義務付けており、各自治体が急ピッチで動いています。

認知症と疑われながらも医療や介護サービスの利用につながつておらず、生活に支障が出ているなど、様々なケースに対し、家族や周囲の人々、地域包括支援センター等からの相談を受けて、対象者の家庭を訪問

し、以下のような支援を行います。

【支援内容】

- ・ 認知症か否かの評価
- ・ 医療機関への受診が必要な場合に、支援対象者や家族への動機付けや、継続的な医療サービスの利用に至るまでの支援
- ・ 介護保険サービスに関する説明と利用の勧奨
- ・ 生活環境の改善やケアについてのアドバイス（支援対象者が医療サービスや介護サービスによる安定的な支援に移行するまでの間とし、概ね最長で六か月間）
- ・ 認知症に関する正しい情報を提供する
- ・ 介護者との情報共有
- ・ 介護者の負担軽減や健康保持についてのサポート

【支援対象者】

四十歳以上で、在宅で生活しており、認知症が疑われる人又は認知症の人で、以下の（ア）（イ）のいずれかの基準に該当する人

（ア）医療や介護サービスを利用していない、または中断しており、

以下のいずれかに該当する人

- ・ 認知症の診断を受けていない
- ・ 継続的な医療サービスを受けていない
- ・ 適切な介護サービスに結び付いていない
- ・ 介護サービスが中断している
- （イ）医療サービス、介護サービスを受けていても、認知症による症状（行動・心理症状）が強く、対応に苦慮している人

【支援チーム員】

認知症の専門的な知識・技能を有する医師・看護師・精神保健福祉士・社会福祉士・作業療法士・臨床心理士等の医療・保健・福祉に関する国家資格を有し、認知症ケアや在宅ケアの実務・相談業務等に三年以上携わった経験がある者が対応いたします。（相談・訪問実施時間）月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）午前九時～午後五時



お問い合わせ・ご相談は
折込の別紙案内をご覧ください

シリーズ全4回

第3回

看取りについて



団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる「2025年(少子高齢化問題)問題」、高齢社会だけが問題でなく「多死社会」になることも予測されています。内閣府意識調査(2012年)統計資料によると、自分の「人生の最終段階」の場所として5割以上の方が、「自宅での看取り」を希望しているという結果になっています。現実にはそうではないようですが…。

今回は、自分自身の「人生の最終段階」を書面に残しておく方法があるので紹介させていただきたいと思います。

個人的な書面の作成方法として、リビング・ウィル(Living・Will)という方法(事前指示書)があります。リビング「生きている」とウィル「意志」と言う二つの言葉を合わせた言葉で、オックスフォード英語辞典では、「重病になり自分自身では判断ができなくなる場合、治療に関しての自分の希望を述べておく書類、特に、医師たちに治療を中止し死にまかせてくれるよう依頼する書類」と書かれています。日本では、「生前遺言状」、「生前発行遺言状」と訳されてしまっています。

広島市の普及施策として取り上げられている、広島市安芸区での取り組みを紹介してみたいと思います。

アドバンス・ケア・プランニング(Advance Care Planning: ACP)です。患者さん(本人)と家族が医療、介護従事者などと一緒に、現在の病気のことだけでなく、自分自身の意思決定能力が低下する場合に備えて、あらかじめ、終末期を含めた今後の医療や介護について話し合う事、意思決定が出来なくなったときに備えて、本人に代わって意思決定をする人を決めておく過程のことを言います。

リビング・ウィルは個人的な意思を尊重しますが、ACPは、家族や医療、介護の関係者で自分の意思決

定を尊重してもらう事ができます。自分自身の判断能力が低下したとき、受ける医療に対する自分自身の希望をみんなに知ってもらうことが出来ますし、家族も安心して医療ケアに対する希望を本人に代わって自信を持って伝える手段となる可能性があります。ACP(Advance Care Planning)の進め方? -広島市ホームページ抜粋-安芸区地域保健対策協議会ホームページ 参照

ステップ1「あなたの希望や思いについて考えましょう」

- あなたの人生の目標・希望や思いは何でしょうか?
- あなたにとって、何が大切か考えてみましょう。

ステップ2「あなたの健康について学び、考えましょう。」

例えば…私の希望は、治療の結果、どのような状態で療養を続けることになってても病気と闘って一日でも長く生きることです。

ステップ3「あなたの代わりに意思決定をしてくれる人を選びましょう。」

- 複雑で困難な状況でもあなたの希望や思いを尊重して判断できる人を選びましょう。
- 必要だと思うあなたの周囲の人に、代理人を紹介しましょう。

ステップ4「医療に関するあなたの希望や思いについて伝えましょう。」

ステップ5「あなたの考えを文書にしましょう。」

- 話し合ったことを記録に残しておきます。「私の心づもり」には話し合った人や日時を記入しておきましょう。

広島市城山・五日市観音地域包括支援センターでも、終末期の医療やケアについて医療・介護連携推進事業を推進しています。地域包括支援センター(広島市41ヶ所)は地域の高齢者の相談窓口です。お気軽にご相談いただければと思います。

広島市城山・五日市観音地域包括支援センター
門脇 宏樹

陽光の家通信

【ほのぼのの製作活動】

特別養護老人ホーム陽光の家では、季節に応じ入所者さまと職員が協力し作品づくりを行っております。今夏は「朝顔」と「海」をテーマにそれぞれ制作しました。

「朝顔」では、習字で使用する半紙を丸く切り、絵の具に付け染めて模様を描きました。染め加減や色によつて全て違う模様になり、世界で一つの朝顔が咲きました。

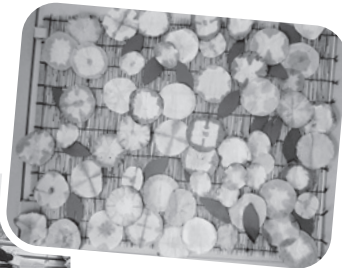
「海」ではヤシの木の幹の部分に貼り絵にし、入所者さま方の好きなように貼つてもらい、魚は透明な袋に色紙を丸めて入れてもらい目を描いて頂きました。

どちらの作品も入所者さまそれぞれの個性がでており、制作をしてい

る段階でも積極的に参加される方、面倒くさそうにしながらも一回始めると夢中になれる方、見ているだけで良いと言われる方などさまざまでした。それぞれ一つずつ仕上がっていく度に関わつて下さる入所者さまも増え、最後に完成した作品を壁に飾ると、それぞれあーでもない、こーでもないと思感を言い、拍手が起りました。

またこの機会を大切にし、秋に向けての制作を考えておりますので楽しみにしておいてください。

陽光の家 介護士 溝手 杏子



栄 養 の お 話

乾物の魅力

昔から家庭料理に欠かせない存在の乾物ですが、最近では「使い方が分からない」「戻すのが面倒」といった理由で敬遠されがちです。しかし、乾物は保存がきいて価格も安く、栄養たっぷり。天日で乾燥させることで旨味や香り、栄養がグンと増します。

- 【高野豆腐】たんぱく質・カルシウム・リンなどが豊富。煮物以外にも卵とじや空揚げなどにも…。
- 【千切り大根】カルシウム・鉄・食物繊維なども豊富。サラダや炒め物などにも利用できます。
- 【ひじき】カルシウム・食物繊維・マグネシウムが豊富。サラダやハンバーグに加えてもおいしいです。

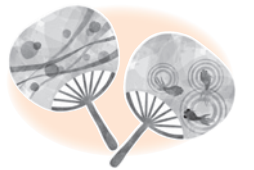
使い方は簡単。この機会に乾物のよさを再発見してみませんか。

ナカムラ病院 栄養科 管理栄養士 長村 悦子



つばいこぼれ話

うちわで猛暑を吹き飛ばそうの巻



季節を感じていただきながら、何か作りましょう、と職員のアイデアで切り絵の手作りに取り組みました。金魚や個々のお好きな字を切り抜き、うちわに貼りつけます。「私は切るのが好き」「のり付けはまかせて」と、それぞれ得意分野の参加です。もちろん「いいねえ」と眺める方も…。

夏らしい、青地のカラフルな



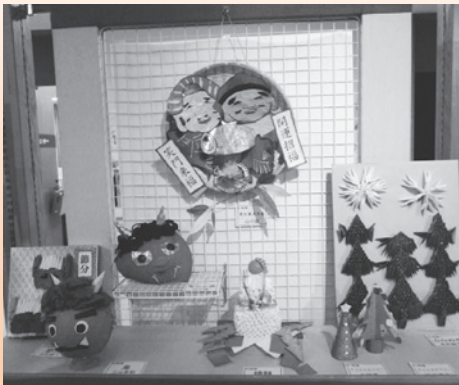
うちわが完成しました。秋は何を作りましょうか？

グループホーム つばい
ホーム長 川部 明美

第16回
患者さま・
利用者さま

作品展

今年は八月四日から九月二十五日の期間で、十六回目となる作品展を開催することができました。今回の作品展にも、ナカムラ病院、デイケアにぎや家、院内保育の子どもの作品が展示されました。また、介護老人保健施設まいえからは、生け花の展示が行われました。作品の数は全部で三百点以上にもなり、展示されている作品は、ぬり絵や貼り絵、折り紙、編み物、書道などの個性豊かな見ごたえのある作品がたくさん集まりました。



ることで、再びみなさんの笑顔を見ることが出来、私自身も嬉しく思っています。今後も作業を通し



上がったものばかりです。得意なことや好きなことなどを取り入れ一つ一つ作り上げ、完成したときには「すごいのが出来たね!」「これは良い」など一緒に喜びあえる瞬間はとても嬉しいです。作品展を訪れた際には、自分が作った作品や名前を見つけて、「すごいね!」「これ、私が書いたものだね」「みんな、上手に作ってるね」などのさまざまな声が聞かれます。作品として形に残り、それを一緒に見

どの作品も利用者さま、患者さまが色々な思いで作成し出来上がったものばかりです。得意なことや好きなことなどを取り入れ一つ一つ作り上げ、完成したときには「すごいのが出来たね!」「これは良い」など一緒に喜びあえる瞬間はとても嬉しいです。作品展を訪れた際には、自分が作った作品や名前を見つけて、「すごいね!」「これ、私が書いたものだね」「みんな、上手に作ってるね」などのさまざまな声が聞かれます。作品として形に残り、それを一緒に見

て、その人らしさや、良い表情を引き出していけるよう、さまざまな活動を考え、提供していきたいと思えます。作品を通して、利用者さま、患者さまの思いや作品展のテーマでもある「今を生きる」を感じながら触れてみてはどうでしょうか。

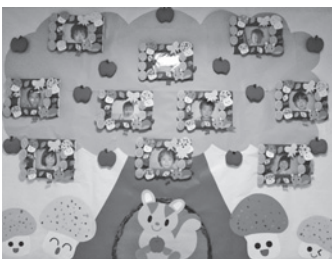
ナカムラ病院 リハビリテーション科
作業療法士 原田 玲未

院内保育作品展



院内保育では、季節の絵画製作を毎月行っています。その中で季節を身近に感じ、描いたり切ったり貼ったりなどの活動を通して表現することを楽しんでいます。製作が大好きな子どもさんたちは「自分がする」「もつとやる」と意欲満々です。「わあ、すごい」「きれいだね」「できたー」など

驚きや喜びの声もたくさん聞かれます。一歳時の子どもさんたちも「べったん、べったん」など片言でおしゃべりしながら保育士と一緒に作る楽しさを味わっています。今回は六月に作った作品と、子どもさんたちの笑顔を写真立てにして展示させていただきました。ひとりひとりの笑顔がこれからも輝けるように、この恵まれた自然豊かな環境で様々な活動に取り組みんでいきたいと思えます。



いきいき 行事だより

拡大版

魚釣り

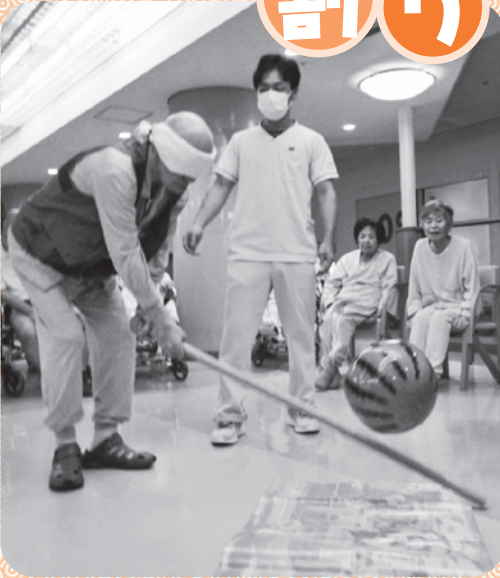
B6病棟



▲魚が釣れましたね! お見事です!!

A3病棟

スイカ割り



▲残暑に負けぬ会心の一撃! お見事です!

にぎや家

ビアガーデン



▲かんぱ~い!!

夏祭り

まいえ1



▲アヒルがたくさん釣れました。

いきいき行事ダイジェスト

7月

- 七夕会【天の川魚釣り、大玉ボール流し大会】(B6)
- ボランティア・売店(陽光の家)
- B1・B3・B4合同運動会(リハビリ)
- 七夕(まいえ2)
- カラオケ大会(A3)
- ゆかた祭り(にぎや家)
- 七夕会とフルーツバイキング(B5)
- 映画鑑賞(B7)
- 夏祭り(まいえ1)
- 法話会【延命寺】(陽光の家)
- 書道(陽光の家)
- フルーツバイキング(まいえ2)
- 昼食バイキング(まいえ1)
- フラワーアレンジメント(陽光の家)
- 夏祭り(陽光の家)
- 陶芸(陽光の家)

8月

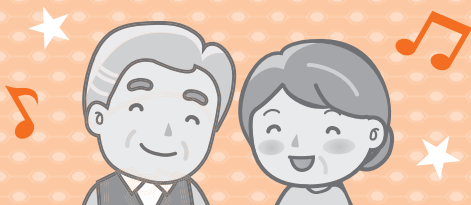
- スイカ割り【ビーチボールか風船】(A3)
- 陶芸(陽光の家)
- 夏の歌会(B5)
- 売店(陽光の家)
- 納涼お楽しみ会(全体行事)
- 慰問【実り会】(陽光の家)
- そうめん流し(まいえ2)
- デイケアピアガーデン(にぎや家)
- 納涼会(B7・つばい)
- 法話会【蓮照寺】(陽光の家)
- 書道(陽光の家)
- 大正琴・早稲田大落研(陽光の家)
- ケーキバイキング(まいえ2)
- フルーチェ作り(B6)

9月

- 秋の小コンサート(B7)
- ボランティア・売店・陶芸(陽光の家)
- 敬老会(全体行事・陽光の家・つばい)
- 法話会【長福寺】(リハビリ)
- ドッグセラピー(まいえ2)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- お月見風船バレー大会(B5)
- バイキング(にぎや家)
- 外食(つばい)
- フルーツバイキング(まいえ1)
- お月見+紙芝居(B6)
- ケーキバイキング+お月見写真(A3)
- フラワーアレンジメント(陽光の家)
- 法話会【光乗寺】(陽光の家)



▲息ぴったりに技が繰り出されました！



納涼 全体行事 お楽しみ会



▲優しい歌声に聞き入ってしまいました♪

世界アルツハイマーデー記念講演会 広げよう! 認知症理解の輪2018

9月6日、佐伯区民文化センターにて世界アルツハイマーデー記念講演会『広げよう! 認知症理解の輪2018』が開催され、理事長の中村がお話をさせていただきました。

この講演は、認知症サポーター養成講座の一環でもあることから、認知症の基礎知識から最新の治療事情なども内容に含まれておりましたが、実は今回の演題は、「認知症? ならカフェに行こう!」。国の認知症政策である新オレンジプランにもあるように、認知症の方の地域参加、地域住民への啓蒙活動などの役割を果たす認知症カフェというシステムの紹介が今年のメインテーマでありました。

H28年から開始した当法人の認知症カフェサロンドファミーユの概要、運営状況や参加して下さっている方々の反応、意識の変化、などについての報告を行い、最後はカフェの運営メンバー達も壇上に上がり、元気いっぱい紹介をさせていただきました。

また、講演のあとはお馴染み、認知症サポーターの皆さんによる寸劇タイムや、佐伯区全ての認知症カフェの紹介コーナーもあり、盛りだくさんの内容でした。

佐伯区という『地元』の中で、こうして皆さんと交流させていただいて、当法人としてとても感謝しております。今後とも、少しでも地域貢献できますよう、邁進してまいります。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

医療法人ピーアイエー 理事長 中村 友美



やさしく心に届く影絵の魅力

ご覧いただき、ありがとうございました。



「小さな祈りの影絵展」をご覧いただき、ありがとうございます。

「小さな祈りの影絵展」は被爆60年の2005年から始まりました。毎年8月5・6日、平和公園の元安橋の袂に影絵BOXを設置してたくさんの方々にご覧いただいています。そして本番が終わると、学校や幼稚園、市役所、老人ホームなどを巡回展示しています。このたびは、最初の巡回展示をナカムラ病院さまがお引き受け下さり、ロビーに展示させていただくことができました。ありがとうございます。

影絵といえば白と黒のイメージですが、私たちの作品はさまざまなカラーセロファンや和紙などが明かりによってやわらかく温かい雰囲気を出し、やさしく人の心に届きます。幼稚園児、中学生、高校生、大学生、社会人も若い人から高齢の方まで、そしてハワイの高校生も…とたくさんの方々に参加して作り上げました。影絵作家のすばらしい作品も無心に紙を切った幼稚園児の作品も障害のある方の作品も、みんなみんな輝いています。

何でもない当たり前の日常があることの幸せ、「みんな違って、みんないい」と感じる心のたいせつさをあらためて思います。こうして、多くの皆さまに見ていただくことができましたことに感謝と心よりのお礼を申し上げます。

「小さな祈りの影絵展」サポーター 平木 久恵
(「Grandeひろしま」編集長)

秋の深まる季節になりました。今年の夏は酷暑で暑い日が続きましたが、皆さま体調は崩されていませんか? 秋といえばスポーツの秋、芸術の秋などいろいろありますが、私にとっては食欲の秋。サンマや栗、マツタケなどがスーパーに並んでいるのを見ると、秋を感じますね。食べ過ぎには注意しながら、食欲の秋を堪能したいと思います。

編集後記

予告 ナカムラ病院開設40周年記念
三遊亭 好楽一座 公演会

【日時】
12月4日(火)
午後2時30分～4時30分

【場所】
ナカムラ病院
4階 大ホール

観覧無料(要整理券/受付先着順)

※受付予定枚数に達した時点で受付を終了いたします。

PIAファミリー 平成30年 平成31年
10月 ▶ 1月

今後の予定 ※展示内容は一部変更する場合があります。

展示場所	期間・内容
第一展示コーナー	10月上旬 PIAファミリー いけ花愛好会 花展
	10月中旬▶12月中旬 あとりえみゆげ10周年 キッズ・アート展
	12月下旬▶1月下旬 2019年 カレンダー展
第二展示コーナー	10月上旬▶12月中旬 広島市立大学芸術学部 学生有志作品展
	12月下旬▶1月下旬 2019年 カレンダー展